

活動的な生き方を支える運動器のエキスパート

高齢化社会、健康志向の現在、運動器疾患治療の需要は高まるばかりです。低侵襲で最大の効果をあげる先進的な手術とリハビリテーションによりQOLを最大限高める治療に取り組んでいます。

診療体制

医師12人で一般外来を担当、脊椎、股関節、骨軟部腫瘍、リウマチ、スポーツ障害膝肩疾患、上肢疾患を各3~4名の専門医が担当、手術・外来診療を行っています。日帰り手術や比較的短期間の入院で運動器のほぼ全ての分野をカバーしています。

対象疾患

頸椎症、腰部脊柱管狭窄症、脊髄腫瘍、脊柱靭帯骨化症、変形性股関節症、大腿骨頭壊死、関節リウマチ、スポーツ障害、膝靭帯軟骨損傷、骨粗鬆症、腕神経叢損傷、キーンバック病、悪性骨腫瘍、悪性軟部腫瘍など。

診療、研究実績

一般的な診療についての実績

年間手術件数約700件。人工股関節手術約120件（うち再置換術約30件）、脊椎脊髄手術約80件、人工膝関節手術約80件、悪性骨・軟部腫瘍約30件などを行っています。

高度医療の取り組み・研究

- ①人工関節の開発
高い術後機能と耐久性をもった人工股関節・膝関節を開発し使用しています。また人工関節を開発中です。
- ②ナビゲーションシステム、三次元実体模型
脊椎手術、人工関節手術にナビゲーションシステムや三次元実体模型を導入し手術の正確性、安全性を高めています。
- ③腕神経叢損傷
難治性障害である腕神経叢損傷に対しての機能再建手術を積極的にを行っています。
- ④骨軟骨移植
若年者の関節軟骨損傷に対して骨軟骨移植（モザイクプラスチック）を行っています。
- ⑤臨床試験
成人高悪性度軟部肉腫に対する化学療法、骨肉腫、ユーイング肉腫に対する集学的治療を多施設共同研究として実施中です。



多彩な精神の病気に専門的治療

統合失調症や気分障害のみならず、多様な精神疾患に対する治療を専門的に行っています。病棟はマーク式閉鎖方式をとっており、入院の必要な急性期の精神症状を呈する方を積極的に受け入れる体制を整えています。

診療体制

外来患者数は延べ30,000人を超え、20,000人近い入院診療を行っています。児童・青年期、摂食障害の専門外来も設けています。急性期治療に対応したマーク式閉鎖病棟で、人権に配慮したアメニティを配備しています。

対象疾患

統合失調症、急性一過性精神病性障害、気分障害（うつ病・躁うつ病）、器質性精神障害、中毒性精神障害、不安障害、強迫性障害、摂食障害、てんかん、自閉性障害、チック障害、認知症など。

診療、研究実績

一般的な診療についての実績

統合失調症や気分障害を中心に、児童・青年期疾患、てんかんなど、幅広い領域において診療を行っています。精神療法的接近をはかりながら、薬物療法あるいは高度な専門治療を行い、さらにデイ・ケア診療部と連携して、複合的で一貫性のある治療を行っています。

高度医療の取り組み・研究

- ①難治性疾患への通電療法
パルス波治療器を導入し、遷延性うつ病、遅発性緊張病、急性精神病などいずれも薬物治療に抵抗性のある症例に対して修正型通電療法による通電療法を行っています。

- ②児童・青年期の専門外来
18歳以下の児童・青年を対象とした児童外来を設置し、自閉性障害やアスペルガー障害などの広汎性発達障害、注意欠陥・多動性障害、神経症性障害、チック障害、精神病性障害などに対する専門的な治療を行っています。

- ③精神科リハビリテーション
精神科作業療法では、主に外来患者を対象とし、幅広い疾患をカバーしています。デイケア診療部では、統合失調症や感情障害などの社会機能の回復を支援するとともに、患者家族への心理教育も並行して実施しています。

